

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	スポーツと法	2	谷塚 哲	
平成25年度以前	スポーツと法	2		
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ 1961年のスポーツ振興法、2000年のスポーツ振興基本計画、2011年のスポーツ基本法を軸とした一連の日本スポーツ政策の中で、これらに関する諸法令等を学び、スポーツ界における法的意識を高めるとともに、スポーツ活動中における事故や怪我などの法的リスクマネジメントも学ぶ。またプロスポーツや中央競技団体、地域スポーツなどを取り巻くガバナンスやコンプライアンスなどについても学び、将来的な法的知識のあるスポーツ人の育成を本講義の狙いとする。				言語 共通
授業の概要				専門基礎
授業計画 第1回： スポーツと法(オリエンテーション) スポーツと法の関わり 第2回： スポーツ振興法(スポーツ振興基本計画) 第3回： スポーツ基本法 第4回： スポーツ活動における法的リスクマネジメントⅠ 指導者、組織の法的責任 第5回： スポーツ活動における法的リスクマネジメントⅡ 判例からのリスクマネジメント 第6回： スポーツ組織運営に関わる法的知識Ⅰ(組織)会社法、公益法人法、NPO法等 第7回： スポーツ組織運営に関わる法的知識Ⅱ(権利)著作権、商標権、肖像権、パブリシティ権 第8回： スポーツ組織運営に関わる法的知識Ⅲ(事業者)消費者基本法、消費者契約法 第9回： スポーツ組織運営に関わる法的知識Ⅳ(労働環境)労働基準法、民法(契約) 第10回： プロスポーツ選手に関わる法的知識 選手の法廷地位、統一契約書、代理人制度 第11回： プロスポーツリーグに関わる法的知識 独占禁止法、移籍制度、リーグ内規約等 第12回： 指定管理者制度 地方自治法 第13回： スポーツ振興くじ スポーツ振興投票の実施等に関する法律 第14回： スポーツ仲裁 仲裁制度、仲裁事例、スポーツ仲裁裁判所 第15回： スポーツと法(まとめ) スポーツにおける法律の重要性 【履修上の注意事項】 期末テストは記述式になるため、授業中にノートを取ることが重要。 また毎回授業の内容の沿った記述形式の出席を取る。				法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉 演習
テキスト 特になし。				25年度以前 スポーツ福祉コース
参考書・参考資料等 地域スポーツクラブのマネジメント、ソシオ制度を学ぶ(谷塚 哲 共にカンゼン) スポーツ基本法(日本スポーツ法学会 成文堂) ケーススタディスポーツアクシデント(伊藤 堯 体育施設出版)				
学生に対する評価 概ね学期末テスト、出席状況によって評価する。				